

蓮ダムのSNS更新中!

公式Twitter

フォロワー
800人突破!
(2023年6月現在)



公式YouTubeチャンネル

チャンネル
視聴回数
1万回突破!
(2023年6月現在)



蓮ダムのあれこれを動画でご紹介!
たとえば本誌特集で掲載した、放流前の
情報周知(サイレン等)の実際の音を聞く
ことができる動画もあります。防災意識を
高める機会にもご活用ください。
※サイレン音にストレスを感じる方は視聴にあたり
ご注意ください。

国土交通省 川の防災情報



全国の河川の防災情報が探せる
ポータルサイトです。
「蓮ダム」で検索すると、現在の流
入量・放流量・水位・雨量がわかり
ます。リアルタイムに更新され(10
分ごと)、災害時にダムの放流状
況や貯水量を確認していただくこ
とができます。蓮ダム公式サイト
の「災害時用トップページ」から
もリンクします。

川の防災情報

<https://www.river.go.jp/index>
(川の防災情報トップページから
は「蓮ダム」で検索してください)



蓮ダムでおこなっている日々の管理業務
をはじめ、様々なできごとを発信してい
ます。防災情報の発信や、ダム周辺の四季
折々のようすも見逃さずにチェックでき
ます。

蓮ダム管理所公式アカウント
@mlit_hachisu
https://twitter.com/mlit_hachisu



蓮ダム管理所公式
YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCW8uCT_G4KZb9_MnMY9Z8dQ



蓮ダムでは1年を通し、ダム見学の申込みを受け付けています。

当日や現地でのお申込みは、管理所の業務状況に
よってご対応できない場合があります。希望日の
1週間前までにお電話にてお申込みください。

見学時間 ● 平日 9時～15時30分 (12時～13時を除く)

電話番号 0598-45-0371

受付時間 平日 9時～16時30分
(12時～13時を除く)

ダムカード
お1人様
1枚限り

くわしくは、蓮ダムホームページ▶イベント情報▶展示室・ダム見学のご案内をご覧ください。

お願い 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、こちらで用意する消毒と検温の実施をお願いします。
37.5℃以上の発熱が確認された場合、見学をお断りさせていただきます。可能な限り少人数でご予約ください。

蓮ダムへお越しの方に
お渡ししています。



国土交通省 中部地方整備局
蓮ダム管理所

〒515-1615 三重県松阪市飯高町森1810-11
TEL (0598) 45-0371 FAX (0598) 45-0343

<https://www.cbr.mlitt.go.jp/hachisu/>



国土交通省 蓮ダム管理所

はちす

蓮ダム管理所
情報誌

2023
vol.62



公式
ホームページ



公式
チャンネル



公式
アカウント

@mlit_hachisu

ダムの貯水量が 限界に近づいたら?

特集

緊急放流
について解説します

周辺予定イベント

開催を見合わせる場合や規模を縮小
する場合があります。
事前に下記お問い合わせ先までご確
認ください。

〈お問い合わせ先〉
松阪市飯高地域振興局
TEL.0598-46-7111

- 8月 12日 …… 香肌峡もり夏まつり(飯高総合開発センター)
- 8月 15日 …… はぜ夏まつり(飯高林業総合センター)
- 10月 1日 …… 第3回まつさか香肌峡サイクリング大会
- 10月 8日 …… 波瀬ふるさとまつり(飯高林業総合センター)
- 10月 15日 …… 宮前フェスティバル(飯高芝生公園)

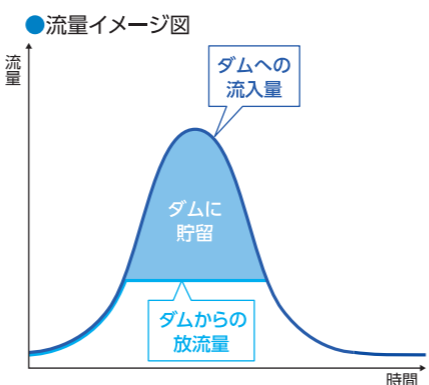
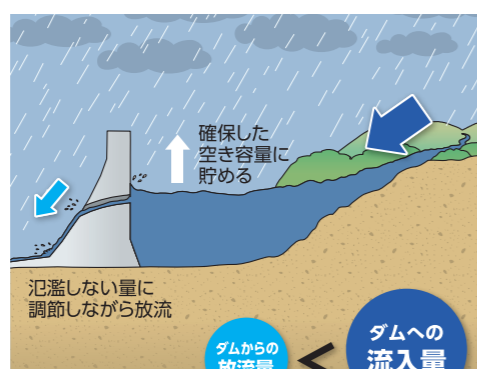
ダムの貯水量が限界に近づいたら？

昨年は東北、九州、東海地方など、日本各地で甚大な大雨災害が発生しました。近年は、これまで経験したことのないような大雨となり、浸水被害が多発しています。連ダムでは、こうした予測を超える大雨に対しても、洪水や河川氾濫の被害をできる限り抑えるよう放流等の操作を行います。ダムに貯めることができる容量には限界があります。今回はダムの貯水量が限界(満水)となり、それ以上貯められない場合に実施する「緊急放流」について、紹介します。

大雨の時の放流(洪水調節)

※連ダムの場合

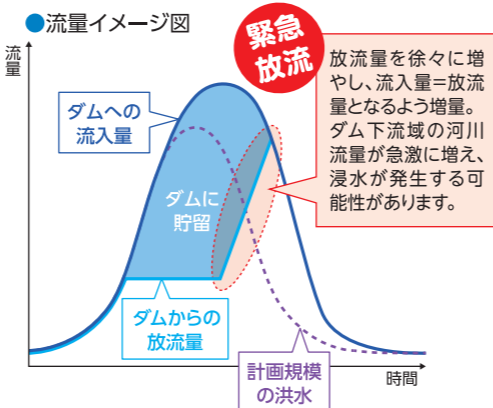
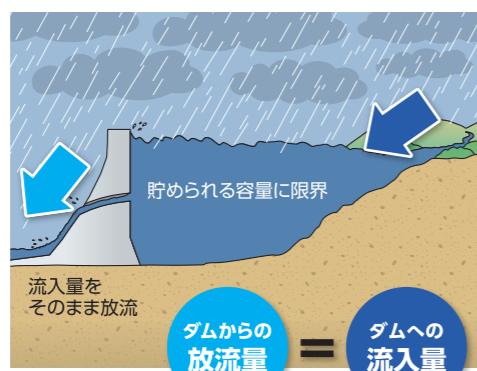
台風などで大雨となりダムへの流入量が多くなる時は、下流の洪水被害を軽減するため、確保した空き容量を使ってダムに流れ込んでくる水の一部を貯めながら、放流します。



緊急放流

※連ダムの場合

上の絵のように通常はダムに流入する水より少ない量の水を放流して洪水を防いでいますが、さらに大雨が続きダムの計画を超えるような洪水になると、ダムが満水となり、それ以上貯められなくなる(容量の限界に達する)恐れがあります。そのため、ダムからの放流量をダムの流入量と同程度となるように近づけていき、満水になったら、流入量をそのまま下流に通過させる「緊急放流」へ移行します。



警報を見聞きしたら川から離れ、ちゅうちょなく避難を!

放流する前には、関係機関へ情報を共有し、サイレンとスピーカー、電光表示板で警報を発信します。とくに緊急放流では、ダムからの放流量が急激に増えます。河川の水位が短時間で上昇し、氾濫する恐れもあります。命を最優先する避難行動をお取りください。



放流警報電光表示板

▲放流警報局

連ダムでは発電量をふやす操作の試行に取り組みます。

国土交通省中部地方整備局では、近年の気候変動の影響による水害の激甚化・頻発化を踏まえた治水対策とともに、2050年カーボンニュートラルに向けた取組みを加速させるため、令和4年度より、一部のダムにおいて、運用高度化による増電の試行に取り組んでいます。連ダムにおいては、今年度から発電に資する放流活用操作の試行に取り組みます。

2050年カーボンニュートラルに向けた取組み

治水機能の強化 両立 水力発電の促進

貯水量を柔軟に運用する新たな取り組みです



発電に資する放流活用操作とは?

- ①洪水調節を行った後に、貯め込んだ水を発電に有効活用する。
 - ②洪水調節に至らない洪水時に、洪水期制限水位以上に貯留するなど、可能な限り発電に活用する。
- の2つがあります。

1の場合

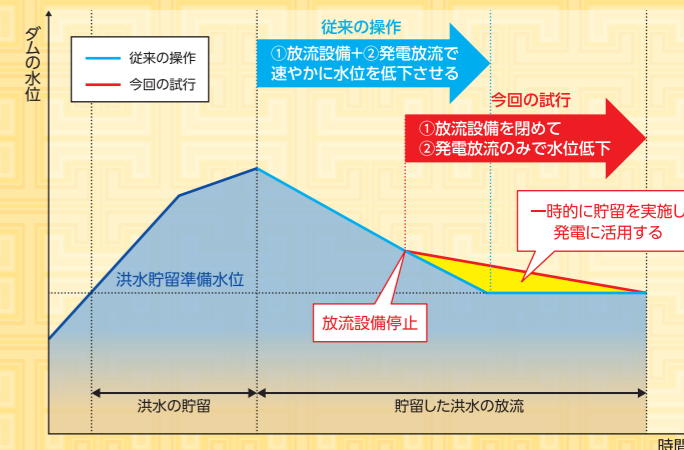
従来の操作

通常運用では洪水調節を行った後は、次の洪水に備え速やかに洪水調節容量を確保するため、放流設備から放流を行い洪水期制限水位以下まで、ダムの水位を低下させます。

今回の操作(試行)

最新の気象予測技術を活用し、次の洪水調節に支障がないと判断された場合には、放流設備を停止し、発電放流のみに切り替えます。これにより、洪水調節容量に貯留した水を活用することで、発電する量をふやすことができます。

●ダムの運用イメージ



2の場合

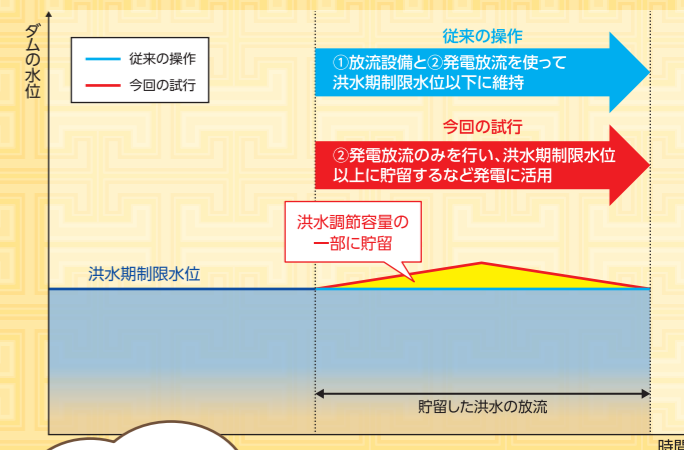
従来の操作

洪水調節を行わない規模の出水において、流入量が発電の最大放流量を上回った時、ダムの水位が洪水期制限水位を超えないように、放流設備から放流します。

今回の操作(試行)

最新の気象予測技術を活用し、洪水対応に支障がないと判断された場合には、放流設備は使用せず、発電放流のみを行います。洪水期制限水位を少し超えて貯留した水も、可能な限り発電放流に活用します。

●ダムの運用イメージ



洪水調節に支障のない範囲で試験的に始めます

